

週間漁海況情報—第27号

平成23年7月4日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

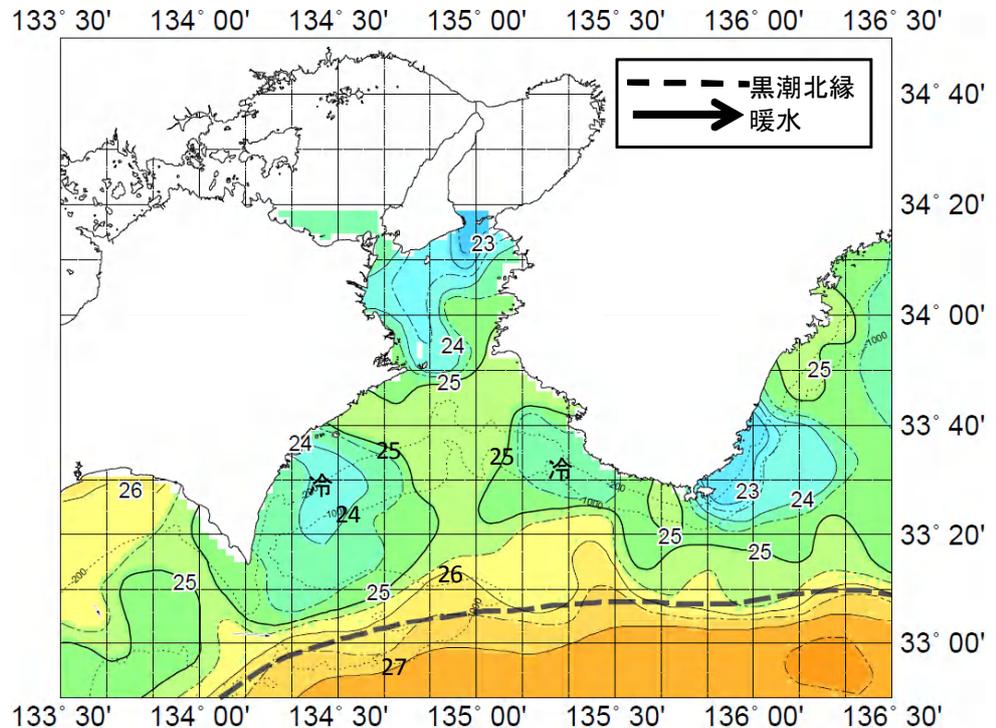
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.7.4）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

室戸岬以西では、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬沖で接岸している。

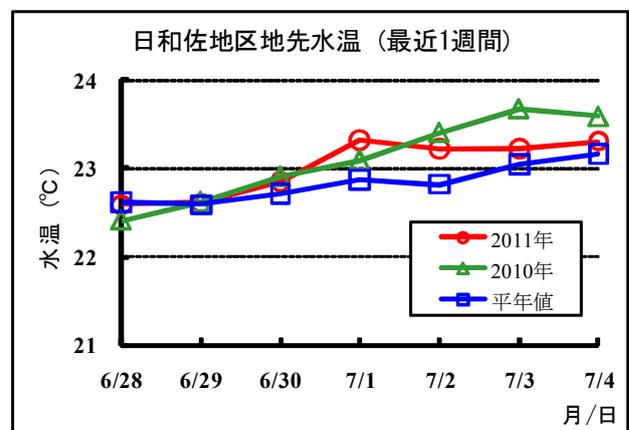
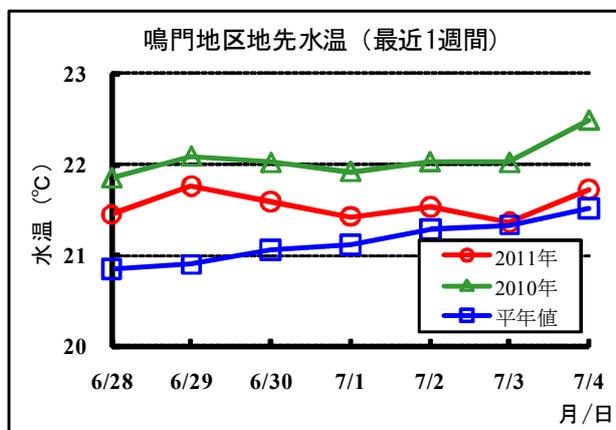
黒潮本流の表面水温は、26～28℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で21～22℃台、紀伊水道で22～25℃台、海部沿岸で24～25℃台である。



紀伊水道外域では、先週28日以降和歌山県側から黒潮系暖水が流入していたが、今週に入り弱まっている。この影響から、海部沿岸下灘に内海系水由来とみられる比較的水温の低い水域がある。

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の21.4～21.8℃、日和佐地区で「平年並み」の22.6～23.3℃、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の21.4～23.9℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 海況の経過

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.8トン（1日1隻当たり24kg）、カタクチイワシが0.3トン（同48kg）、トビウオ類が0.2トン（同10kg）、小小・小主体にマアジが2.8トン（同104kg）、マイワシが0.2トン（同14kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、特大主体にイサキが1.0トン（同238kg）、イワシ類が1.4トン（同345kg）、小主体にゴマサバが0.6トン（同139kg）、小主体にシイラが7.2トン（同1.8トン）、ブリが0.6トン（同145kg）、メジロが1.2トン（同312kg）、大主体にマアジが2.4トン（同600kg）、中主体にマダイが0.2トン（同58kg）、マルソウダが0.9トン（同218kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが0.8トン（同25kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 6月27日～7月3日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	32	754	24	
		カタクチイワシ	7	334	48	
		トビウオ類	25	249	10	
		マアジ	27	2,798	104	小小・小主体
		マイワシ	17	233	14	
大型定置網	海部沿岸	イサキ	4	952	238	特大主体
		イワシ類	4	1,381	345	
		ゴマサバ	4	557	139	小主体
		シイラ	4	7,207	1,802	小主体
		ブリ	4	581	145	
		メジロ	4	1,249	312	
		マアジ	4	2,398	600	大主体
		マダイ	4	231	58	中主体
		マルソウダ	4	871	218	
パッチ網	紀伊水道	シラス	30	750	25	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の21～22℃台、日和佐地先は「平年並み」の23～24℃台で推移する見込み。